

# 令和4年度事業報告書

## 1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

### (1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究

①関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模などの調査を実施した。

### (2) スタジオ使用の実態調査及び研究

①9月、音楽録音事業に関する調査報告書を編纂するため、法人正会員社及び準会員社の売上規模、稼働状況等に関する「第21回音楽スタジオ事業経営実態調査」を実施した。

調査内容：売上の推移、稼働時間と時間単価の推移、スタジオ料金／エンジニア料金、スタジオ使用料の見直し、クライアントのスタジオ使用に関する内容、イマーシブ・オーディオのミックス、ライブ録音や生配信、ブッキング業務の現状、エンジニアの雇用、新規エンジニア採用および人材育成、インボイス制度の導入、働き方改革、レコーディングスタジオ事業の問題点、スタジオ運営および営業に関して、社内の労務管理を含め対応に苦慮する問題点

### (3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究

①3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別の正社員数、契約社員数、アルバイト数、マネジメント契約エンジニア数及びインターンシップ受け入れ数について、雇用内容を把握するため、雇用形態調査を実施した。

## 2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

### (1) スタジオ運営に関する研修会等の開催

①10月19日(水)、令和4年4月1日から義務化された中小企業に対する職場のパワーハラスメント防止措置への基本的な対応を学ぶセミナーとして「パワーハラスメントに関するセミナー」をZOOMミーティングシステムにて実施した。

講師：社会保険労務士法人 三平事務所

三平 和男氏 特定社会保険労務士、先崎 恵美氏 社会保険労務士

参加者：法人正会員9社19名、個人正会員1名、賛助会員2社4名 計24名

②11月21日(月)、主にスタジオ経営者及びスタジオマネージャーを対象として、スタジオ運営の実態に関する問題点を把握し、対応策を検討することを目的とする「第17回スタジオ意見交換会」を、東放学園音響専門学校 渋谷校舎 2A3教室での対面とオンラインを併用して開催し、スタジオ運営に関する意見交換を行った。

司会進行：明地 権氏 株式会社サウンド・シテイ

参加者：法人正会員10社15名 計17名

③3月16日(木)、令和5年10月から始まる消費税インボイス制度への対応準備として、財務省より講師の派遣をいただき「インボイス制度に関する勉強会」を東放学園音響専門学校 清水橋校舎2S1教室にて実施した。

講師：財務省主税局税制第二課消費税第二係 澤島 亮氏

参加者：法人正会員11社15名 準会員1社2名 計17名

※YouTubeによる同時配信も行い、終了後のアーカイブ配信も実施した。

④法人正会員社及び準会員社を対象としたスタジオ運営に関する情報交換会を東放学園音響専門学校 清水橋校舎2S1およびオンラインを併用して開催した。

・3月16日(木) 参加者：12社 17名 東放学園音響専門学校 清水橋校舎2S1教室

### (2) スタジオ施設に関する見学会の開催

①賛助会員を対象とし、スタジオ設立からの沿革、音響設計に関する基本コンセプト等を把握することを目的とする「スタジオ見学会」を、会員スタジオの協力により実施した。

第17回： 7月 9日（土）音響ハウス	参加者： 13社20名
第18回： 10月29日（土）サウンド・シティ「tutumu」	参加者： 9社13名
第19回： 4月 6日（木）Bunkamura Studio	参加者： 13社17名

### 3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

#### (1) エンジニアの質的向上を図るため、国内の専門家を講師とする研修会等の実施

①6月3日（金）、Dolby Japan 株式会社会議室をホスト会場として、ZOOM ウェビナーによる「イマーシブオーディオセミナーVol.1～Dolby Atmos」を実施した。

司会進行：深田 晃氏 / JAPRS 技術委員長、株式会社 dream window 代表  
 パネリスト：古賀 健一氏 / Xylomania Studio LLC Recording & Mixing Engineer  
 染谷 和孝氏 / 株式会社ソナ  
 制作技術部 サウンドデザイナー/リレコーディングミキサー  
 中原 雅考氏 / 株式会社ソナ 専務取締役  
 中山 尚幸氏 / Dolby Japan 株式会社 コンテンツ & ワークフロー部  
 コンテンツ技術担当 シニア・テクニカル・マネージャ

②8月8日（月）、ZOOM ウェビナーによる「イマーシブオーディオセミナーVol.2～Sony 360 Reality Audio」を実施した。

司会進行：深田 晃氏 / JAPRS 技術委員長、株式会社 dream window 代表  
 パネリスト：渡辺 忠敏氏 / ソニー株式会社  
 360 Reality Audio コンテンツ制作スペシャリスト  
 鈴木 浩二氏 / ソニー・ミュージックスタジオ  
 レコーディング&マスタリングエンジニア  
 奥田 裕亮氏 / ソニー・ミュージックスタジオ  
 レコーディングエンジニア  
 Chester Beatty 氏 / 山麓丸スタジオ 統括プロデューサー/エンジニア  
 當麻 拓美氏 / 山麓丸スタジオ チーフ・エンジニア  
 山口 哲氏 / 株式会社メディア・インテグレーション MI 事業部

③10月5日（水）、株式会社 WOWOW 様のご協力により辰巳放送センター試写室「オムニクロス」にて「イマーシブオーディオセミナーVol.3～イマーシブオーディオ・エンジニアリングセミナー&試聴体験会」を実施した。（参加者：34名）

内容：I. イマーシブオーディオ・エンジニアリング手法の解説  
 講師：入交 英雄氏 / 株式会社WOWOW  
 エグゼクティブ・クリエイター  
 II. 各種イマーシブオーディオ試聴体験  
 進行：深田 晃氏 / JAPRS 技術委員長、株式会社 dream window 代表  
 III. 質疑応答

#### (2) エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会

①11月16日（水）より18日（金）まで、幕張メッセに於いて開催された「Inter BEE 2022」については、11月17日（木）、JAPRS 賛助会員からの出展11社を対象とし、正会員及び準会員エンジニアと賛助会員各社の製品情報、技術情報等の把握及び交流を目的とした「Inter BEE 2022 賛助会員社ブースツアー」を実施した。

内容：＜出展社＞

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| ・オタリテック(株)             | ・(株)オーディオテクニカ    |
| ・(株)静科                 | ・ゼンハイザージャパン(株)   |
| ・ソリッド・ステート・ロジックジャパン(株) |                  |
| ・タックシステム(株)            | ・日本音響エンジニアリング(株) |
| ・日本環境アメニティ(株)          | ・ヒビノインターサウンド(株)  |

・ミックスメイク(株) ・(株)メディア・インテグレーション  
参加者：法人正会員3社5名、個人正会員1名、準会員1社1名、賛助会員5社5名、  
JAREC1名 計13名

### (3) 資格認定制度に基づく第21回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験の実施

- ① 4月20日(水)、「2022年度版問題集/技術資料集」(B5判193頁)を発行した。
- ② 4月、受験申請書、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。
- ③ 5月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
- ④ 6月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。
- ④ 8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。
- ⑤ 7月3日(日)、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、郡山、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の8地区24ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。  
受験申請者数：721名、受験者数：650名
- ⑥ 8月、受験者に対して認定証カード及び成績証明書を作成し、交付した。
- ⑦ 3月、令和5年7月に実施する「第22回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験」を控え、告知ポスター及び受験案内パンフレット並びに団体受験マニュアルを作成し、団体受験候補先及び会員スタジオに配布した。

### (4) 資格認定制度に基づく第19回JAPRS認定Pro Tools技術認定試験の実施

- ① 4月、資格認定制度委員会内に「2022年度版問題集/技術資料集」作成小委員会を組織し、問題集の作成を開始した。
- ② 5月、9月11日(日)に実施する認定試験を控え、告知ポスター、受験案内パンフレット、受験申請書、団体受験マニュアル、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。
- ③ 6月20日(月)、初級編、中級編及び技術資料集に区分された「2022年度版問題集/技術資料集」(B5判233頁)を発行した。
- ④ 7月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
- ⑤ 8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成し、実施に向けて対応した。
- ⑥ 9月11日(日)、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、新潟、小山、東京、横浜、川崎、名古屋、大阪、広島、博多の11地区27ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。  
受験申請者数：912名、受験者数：789名
- ⑦ 10月、受験者に対して成績証明書、認定証カードを作成し、交付した。

(5) 専門学校の学生を対象とした研修会等の実施

① 5月21日(土)、専門学校学生を対象とし、JAPRS法人正会員、準会員、賛助会員企業の出展による就職支援説明会「JAPRS企業説明会」を新型コロナウイルス感染症拡大予防を講じながら、東放学園音響専門学校 清水橋校舎において実施した。

参加学校：13校 88名

参加企業：株式会社エムアイティギャザリング、株式会社サウンドインスタジオ、株式会社サウンド・シティ、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント、株式会社ミキサーズラボ、株式会社メディア・インテグレーション 以上6社

② エンジニア人材育成プログラムとして、正会員スタジオ2社および賛助会員専門学校1校の協力により、アシスタントエンジニアを目指す専門学校を対象に、レコーディングスタジオに於ける現役エンジニアによる「2022年レコーディングセミナー(スタジオワーク編)」を東京、名古屋、大阪地区に於いて実施計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ開催が難しいと判断し、その代わりとして(一社)日本オーディオ協会主催 OTOTEN 2022のJAPRS出展ブースで開催したセミナー『空間の感触、未来に繋ぐ音像～ビクタースタジオ401studio』(プレゼンター シンガー&ソングライター 鈴木 祥子氏、ビクタースタジオ チーフエンジニア 中山佳敬氏)を専門学校向けにYouTube配信を行った。

③ 11月26日(土)、専門学校学生を対象とした「2022年度JAPRS新人エンジニア育成研修会」を、ビクタースタジオ203をホスト会場としてZOOMウェビナーにて実施した。

内容：I部 (1)「スペシャリストを目指して」

講師：高田 英男氏 JAPRS会長

(2)「レコーディングとアシスタントエンジニアの仕事について」

講師：山田 幹朗氏 (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

ビクタースタジオ エンジニアグループゼネラルマネージャー

(3)「レコーディングスタジオでの働き方の変化、

そして今スタジオではどんな人材を求めているか？」

講師：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ 取締役

II部 (1)「現役エンジニアQ&Aコーナー」

司会：物井 謙行氏 専門学校ESPエンタテインメント東京

安齊 飛鳥氏 サウンドインスタジオ/専門学校東京ビジュアルアーツ 卒

鈴木 礼人氏 ビクタースタジオ/名古屋芸術大学 卒

宮川 涼花氏 MIT STUDIO/専門学校東京ビジュアルアーツ 卒

吉見 潮音氏 ミキサーズラボ/経専音楽放送芸術専門学校 卒

(2)「JAPRSからのインフォメーション」

担当：内藤 重利 JAPRS事務局/専門学校委員長

※当日 ウェビナー参加者：88名 YouTubeによるアーカイブ配信実施

(6) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への支援・協力

① 文部科学省より平成26年4月から従来の専修学校(専門課程)の上位に位置する新たな枠組みとして「職業実践専門課程」を新設することが内示されたが、JAPRS賛助会員に加盟する専門学校が、この専門課程を申請するに当たり、認定基準となる教育課程(カリキュラム)の編成、演習、実習等の内容、教員研修、学校評価等に対するアドバイザーとして、当協会に対する教育課程編成委員就任の要請があり、今期は、以下の各氏が就任し、専門学校に協力した。

仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校 目等 進氏 個人正会員

専門学校デジタルアーツ仙台 //

専門学校名古屋ビジュアルアーツ 深田 晃氏 個人正会員

専門学校ESPエンタテインメント東京 内藤 重利 JAPRS事務局

#### 4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

##### (1) 音楽録音に伴う音楽コンテンツデータ構築の標準化

- ①関連団体である演奏家権利処理合同機構MPNとの業務提携契約により、平成24年6月に開始したミュージシャンのレコーディングデータ収集を目的とする、会員スタジオに於けるMPN BOXの設置を継続した。

##### (2) スタジオ運営に関する規程・フォーマットの標準化

- ①新ルールを周知するためのスタジオ使用規程モデル告知ポスターを作成し配布、会員スタジオ内での掲示及びスタジオ利用者への周知活動推進を実施した。
- ②スタジオ運営に関する問題点の共有化、またコロナ禍における状況および対策に関する情報共有を図るため、オンラインを併用して情報交換会および状況報告会を実施した。

##### (3) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化

- ①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化活動を推進した。

##### (4) 音響設計に関する基礎知識の標準化

- ①平成18年1月に発行したJAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」第9刷を継続して頒布し、写真の入替えおよび一部修正を加えた第10刷を4月に発行した。

##### (5) DVD-Videoの音声規格に関する標準化

- ①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」を継続して頒布した。

#### 5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

##### (1) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催

- ①関連団体である一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN及び東京音楽事業者連盟と共に、三団体が共有する音楽制作に関連する課題解消を目的としたレコーディング三者協議会 (ref) に於ける月例の連絡会議(今期はほぼリアル開催に移行)に参画した。
- ②一般社団法人日本ポストプロダクション協会 (JPPA) が主催し、編集技術者の質的向上を目的として制定し、映像・音響作品及び編集技術者を推奨し表彰する「JPPA AWARDS 2022」を後援した。
- ③NPO法人ミュージックソムリエ協会が主催する、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞「第14回CD ショップ大賞 2022」を後援した。
- ④一般社団法人日本オーディオ協会が主催し開催する「OTOTEN 2022」を後援、またJAPRSとして会員4社に協力をいただき4回のセミナー及びJAPRS高田会長と内藤事務局長による2回の専門学校生に向けたセミナーを実施した。

(株)ミキサーズラボ 「Lacquer Master Sound (ラッカー・マスター・サウンド)  
～ 限らないアナログ・ディスク・サウンドへの挑戦 ～」

講師：内沼映二 (株)ミキサーズラボ 会長  
/ 日本音楽スタジオ協会 名誉会長

日本コロムビア(株) 「日本コロムビアが手がけるクラシック録音  
～ 音創りへのアプローチ ～」

講師：塩澤 利安 日本コロムビア(株) スタジオ技術部  
チーフレコーディング・エンジニア

(株)キング関口台スタジオ「拘りのSACD/CD 高音質作品のマスタリングプロセス解説」

講師：辻 裕行 / 高橋 邦明 (株)キング関口台スタジオ

ビクタースタジオ

「空間の感触、未来に繋ぐ音像～ビクタースタジオ401studio  
鈴木祥子レコーディング・ライブを通じて視えてくるもの」  
講師：鈴木祥子 シンガー&ソングライター  
中山佳敬 ビクタースタジオ レコーディングエンジニア

- ⑤一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）が主催し、11月16日（水）～18日（金）に幕張メッセに於いて開催された第58回2022国際放送機器展「Inter BEE 2022」の開催に協力した。

## 6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

### (1) 日本プロ音楽録音賞の実施

- ①「日本プロ音楽録音賞」は、平成5年に当協会が制定した「JAPRS録音賞」を出発点とし、音楽制作、録音に対する認識を高め、音楽産業の更なる質の向上、録音技術者の地位の確立などを目的として平成6年より実施されているもので、一般社団法人日本音楽スタジオ協会（JAPRS）、日本ミキサー協会（JAREC）、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）及び一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）並びに一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNの5団体が主催し、経済産業省の後援、日本放送協会（NHK）、一般社団法人日本民間放送連盟（NAB）、株式会社ステレオサウンドの協賛及びサウンド&レコーディング・マガジン、CDジャーナル、ステレオサウンド、プロサウンド、レコード芸術、オーディオアクセサリ、アナログ、ステレオの賛助並びに株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ/ソニー・ミュージックスタジオ、株式会社ミキサーズラボ/ワーナーミュージック・マスタリング、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント/ビクタースタジオ、パナソニック株式会社、オタリテック株式会社、日本コロムビア株式会社、株式会社キング関口台スタジオ、東洋化成株式会社、株式会社JVCケンウッド・クリエイティブメディア等の協力をいただき、時代に即した形での顕彰区分の見直し、および前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への防止対策を講じながら「第28回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月6日（火）音の日に東京都千代田 KANDA SQUARE HALLに於いて、（一社）日本オーディオ協会が主催するイベント「音の日2022」の一環として授賞式を行った。厳正な審査の結果、各部門1作品の最優秀賞作品とベストパフォーマンス賞が選定された。部門別の最優秀賞受賞作品は以下のとおり。

#### 【最優秀賞】

##### ◆Best Sound部門 「クラシック、ジャズ、フュージョン」

《作品》「PIAZZOLLA」より「鮫」 宮田大

発売元：日本コロムビア株式会社 フォーマット：96kHz/24bit 2ch

配信元：e-onkyo music、mora、OTOTOY

ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア株式会社

マスタリング・エンジニア：佐藤 洋 日本コロムビア株式会社

##### ◆Best Sound部門 「ポップス、歌謡曲」

《作品》「配信シングル「Baby I love you so」 清水翔太

発売元：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ フォーマット：44.1kHz/16bit 2ch

配信元：e-onkyo music、mora、OTOTOY 他

マスタリング・エンジニア：酒井 秀和 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

ミキシング・エンジニア：金子 実靖 GIALLO PORTA

##### ◆Super Master Sound部門

《作品》「THE REST OF YOUR LIFE」より

「Save the Last Dance for Me (Cover)」 情家みえ

発売元：mdk music Japan

配信元：e-onkyo music、mora、OTOTOY

ミキシング&マスタリング・エンジニア：長江 和哉 名古屋芸術大学

◆Immersive部門

《作品》「Jasmine」より「Jasmine」 Kenta Dedachi  
発売元：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ  
配信元：Apple Music Dolby Atmos  
ミキシング・エンジニア：古賀 健一 Xylomania Studio LLC  
セカンド・エンジニア：眞鍋 広 株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント

◆アナログディスク部門

《作品》「Billie」(AMCE-004)より「You've changed」 MAYA  
発売元：株式会社ディスクユニオン 30cm 33 1/3 回転  
カットイング・エンジニア：手塚 和巳 東洋化成株式会社  
ミキシング・エンジニア：松下 真也 PICCOLO AUDIO WORKS

◆放送部門 「2chステレオ」

《作品》「特集ドラマ / アイドル」より「ようこそ新宿」  
古川琴音 山崎育三郎 愛希れいか 宮川彬良  
日本放送協会 HDTV stereo 2022年8月11日放送  
ミキシング・エンジニア：野口 康史 日本放送協会  
セカンド・エンジニア：森山 芳晴 株式会社 SCI  
セカンド・エンジニア：吉野 桂太 日本放送協会

◆放送部門 「マルチchサラウンド」

《作品》「クラシック音楽館 / 本土復帰 50 年 N 響 in 沖縄」より  
「池辺晋一郎作曲 「琉球幻想」」  
NHK 交響楽団 指揮：ファビオ・ルイージ  
日本放送協会 HDTV 5.0ch 2022年6月19日放送  
ミキシング・エンジニア：植松 俊子 日本放送協会  
セカンド・エンジニア：ヨハン・一郎・ベーマー 日本放送協会  
アシスタント・エンジニア：川田 昌彦 株式会社エキスプレス

◆ベストパフォーマー賞

《作品》「LOVEBEAT 2021 Optimized Re-Master 360 Reality Audio」より「LOVEBEAT」  
砂原良徳  
発売元：ソニー・ミュージックレーベルズ 360 Reality Audio  
アーティスト：砂原良徳

## 7. 音楽録音事業に関する情報収集及び提供

### (1) 会報の発行

①会報誌「JAPRS」を6月に初夏号、1月に新春号として発行した。

初夏号内容：会報初夏号に向けて

令和4年度・JAPRS行動指針について

2021年JAPRSエンジニア研修会 Vol.2

第28回プロ録音音楽録音賞に向けて

会員動向

経済構造実態調査へのご協力のお願い

成年年齢引下げ後に成年に達した若年者に対する適切な対応の呼びかけについて

新春号内容：会長年頭挨拶

Avid Pro Toolsセミナー

2022年JAPRS企業説明会報告

イマーシブオーディオセミナー Vol.1 「Dolby Atmos」実施報告

令和4年度通常総会について

OTOTEN 2022 JAPRSセミナー 実施報告  
第21回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」実施報告  
スタジオ見学会「音響ハウス」  
イマーシブオーディオセミナーVol.2「360RA」実施報告  
第19回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」実施報告  
イマーシブセミナー-Vol.3  
「イマーシブオーディオエンジニアリングセミナー&試聴体験会」  
「パワーハラスメントに関するセミナー」実施報告  
「第32回JAPRSゴルフコンペ」レポート  
スタジオ見学会「サウンド・シティ」  
Inter BEE 2022賛助会員社ブースツアーレポート  
2022年JAPRS新人エンジニア育成研修会 実施報告  
第28回日本プロ音楽録音賞2022の開催と授賞式レポート  
第28回日本プロ音楽録音賞2022 受賞エンジニア&作品紹介  
第28回日本プロ音楽録音賞2022 審査委員講評  
「音の日2022」  
インボイスに関する告知  
会員動向

## (2) 技術資料集の発行

① 4月20日(水)、2022年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集/技術資料集」(B5判193頁)を発行した。

技術資料集内容：1. 電気の基礎知識  
2. 規格表  
3. 定番の音響機器  
4. 音楽に関わる基礎知識  
5. 録音の歴史  
6. 音楽スタジオ関連年表

② 6月20日(月)、2022年度版「Pro Tools技術認定試験問題集/技術資料集」(B5判233頁)を発行した。

技術資料集内容：A. Pro Tools概要  
B. オーディオレコーディング・編集  
C. ミキシング  
D. Pro Toolsシステム・シンク・MIDIなど

③ 3月20日(日)、録音に関わる協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・2023年版」を発行した。

## (3) インターネットの有効的な活用の推進

① 情報公開、情報伝達の普遍的な手段となっているインターネットの利用については、会報・会員リスト・協会活動情報・インフォメーション等の情報を更新した。また資格認定制度に基づく技術認定試験の出願の際、個人受験者用にWeb申し込みフォームを開設し対応、また賛助会員社の販促活動サポートとして「会員社トピックス」をトップページに新設した。

URL <https://www.japrs.or.jp>

E-mail [japrs@japrs.or.jp](mailto:japrs@japrs.or.jp)

② JAPRSホームページ上に情報公開を行った。

掲示内容：1. 定款  
2. 役員名簿  
3. 社員名簿  
4. 事業報告書  
5. 収支計算書  
6. 貸借対照表  
7. 事業計画書  
8. 収支予算書



- ③新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年賀詞交歓会を中止としたが、会長の年頭所感および活動指針をYouTube動画としてホームページにアップし、会員に展開した。

## 8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業等

### (1) 会員の入会促進

- ①未加入音楽スタジオ及び機器メーカー等に協会資料を送付する等の活動を実施した。本年度の新加入者は、法人正会員1社、賛助会員1社であった。

### (2) 会員相互の交流活動の実施

- ①通常総会後に会員の親睦、情報交換を目的とした懇親会を中止とした。  
②10月21日（金）、千葉県市原市の姉ヶ崎カントリー倶楽部西コースに於いて、会員及び関係者を対象とした第32回JAPRSゴルフコンペを開催した。参加者：29名  
③会員間の親睦、情報交換を目的としたJAPRS会員交流会の開催を検討したがコロナ禍を踏まえ中止とした。  
④コロナ禍を踏まえ会員のみを対象とした賀詞交歓会開催を計画したが中止とした。

### (3) 事務局員就業規則見直しの実施

- ①社団法人時代の平成7年から改定されていなかった就業規則を、現在の労働基準法等に則った形での改定を行った。

### (3) 主たる会議開催

#### I. 総会

- ①令和4年通常総会  
期 日：6月9日（木）  
場 所：ビクタースタジオ104をホスト会場としたオンライン開催  
議 案：1. 令和2年度収支決算書（案）について  
2. 令和3年度収支予算書（案）について  
3. 役員全員任期満了による新役員の選出について

#### II. 理事会

- ①5月17日（火） 第29回理事会  
オンライン会議システムにて開催  
議 案：1. 法人正会員社・準会員社の雇用形態調査報告（総務委員会）  
2. 令和3年度事業報告書について  
3. 令和3年度収支決算書について  
4. 令和4年度事業計画書（案）について  
5. 令和4年度収支予算書（案）について  
6. 令和4・5年度新役員構成（案）について  
7. 令和4・5年度委員会構成（案）について  
8. 令和4年度通常総会の開催について  
9. その他
- ②6月21日（火） 第30回理事会  
オンライン会議システムにて開催  
議 案：1. 2022年JAPRS企業説明会実施報告  
2. Avid Pro Toolsセミナー実施報告  
3. イマーシブオーディオセミナーVol.1「Dolby Atmos」実施報告  
4. OTOTEN 2022 学生向けJAPRSセミナー実施報告  
5. 三役及び常任理事の選出について  
6. 顧問及び相談役の推選について  
7. 各委員会構成について

## 8. その他

- ・新役員ご提出書類の確認
- ・事務局員の就業規則改訂について

### Ⅲ. 幹部会（オンライン会議システムにて開催）

#### ① 8月1日（月） 第1回

議案：各委員会報告、事務局就業規則改定について、その他（日本プロ音楽録音賞 授賞式開催についてなど）

#### ② 1月30日（月） 第2回

議案：各委員会活動について、来期JAPRS活動計画に向けての情報共有について、JAPRS事業計画および各委員会計画に関する意見交換